

(抄訳)

AIG は、インターナショナル・リース・ファイナンス・コーポレーション（「ILFC」）の最大 90 パーセントを売却することに合意

ILFC の本部はロサンゼルスにとどまり、現在の経営陣が ILFC を運営する予定

ニューヨーク、2012 年 12 月 9 日ーアメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）およびニュー・チャイナ・トラスト・カンパニー・リミテッドの会長であるウォン・シャンジン氏率いる投資家グループは、本日、AIG が、非中核資産であるインターナショナル・リース・ファイナンス・コーポレーション（「ILFC」）における持分につき最大で 90 パーセントを、当該投資家グループに売却する（かかる取引において、ILFC の価値は約 52.8 億米ドルと評価される。）旨の合意を締結したことを発表しました。

ニュー・チャイナ・トラスト・カンパニー・リミテッド、チャイナ・エイビエイション・インダストリアル・ファンドおよび P3 インベストメンツ・リミテッドで構成される投資家グループは、ILFC の 80.1 パーセントを約 42.3 億米ドルで取得し、追加で 9.9 パーセントの持分を取得するオプションを得ることに合意しました。投資家グループは、中国において規制上要求される承認を受け、当該オプションを実行する際には、ニュー・チャイナ・ライフ・インシュアランス・カンパニー・リミテッドおよび ICBC インターナショナルの投資部門を含むまでに拡大する予定です。

本取引は、2013 年第 2 四半期に完了する予定であり、AIG の非中核資産の分離においてまた新たな成功を収めることとなります。本取引完了時に、AIG は、少なくとも ILFC の 10 パーセントの持分を保留することとなり、これにより AIG は、投資家グループによって ILFC にもたらされる利益を含めた ILFC の他に類を見ないフランチャイズの成長に参加し続けることが可能となります。

AIG のプレジデント兼 CEO であるロバート・H・ベンモシェは、以下のように述べました。

「本取引によって、ILFC にとって固い戦略的なパートナーシップが成立しました。ILFC は非常に力強いビジネス基盤であり、AIG は今後も受動的な投資家として ILFC における少数持分を保有しますが、航空機リース事業は当社の保険事業の中核を担うものではありません。本取引完了時には、本取引は AIG の流動性および信用情報にプラスの影響を及ぼし、我々が当社の中核的な保険事業に焦点を当て続けることを可能とします。」

本取引は、米国および中国において適用のある一切の規制上の審査および承認を含む、必要とされる規制上の承認ならびにその他の慣習的な取引完了条件を満たすことが前提となります。本取引が「売却目的保有」として会計処理されるための基準を満たした場合、AIG は約 44 億米ドルの非営業損失（本取引によって生じる営業損失の繰越による税金控除の利用に関連する約 18 億ドルの非現金費用を含む。）を計上することを予測しています。

ニュー・チャイナ・トラスト・カンパニー・リミテッドの会長であるウォン・シャンジン氏は、以下のように述べました。

「我々のグループは、ILFC の経験豊富な経営チーム、ILFC の経営理念および米国における存在感に対する責任を共に担います。本取引により、ILFC は、航空業界における世界各地のパートナーに対しワールドクラスのサービスを提供し続けつつ、アジアを含む主要な市場において成長を加速することが可能となります。」

ILFC は、80 の国々に約 200 の航空会社のグローバルな顧客基盤を有する有数の独立した航空機リース会社です。ILFC のポートフォリオは、1,000 機を超える自社保

有のまたは管理を行っている航空機、ならびに 229 機の高需要で燃料効率の良い新たな航空機を購入するコミットメントおよびかかる航空機を追加で 50 機購入する権利で構成されています。

新たな所有者の下においても、ILFC は、経営上の独立性を維持し、引き続きカリフォルニア州ロサンゼルスを本社とする予定です。ILFC の CEO であるアンリ・クープロン氏およびプレジデントであるフレデリック・S・クローマー氏は、引き続き事業を運営し、経営を行う予定です。ILFC は、現在約 560 名（うち 450 名超が米国に拠点を置いている。）を雇用しており、AIG が援助していた業務を引き継ぐために、米国に拠点を置く従業員を追加で雇用することを予定しています。ILFC は、本取引完了後も、米国の法人組織であり続け、また、引き続き米国証券取引委員会に登録される予定です。

本取引完了時において、ILFC の優れた新たな取締役会が指名される予定です。新たな取締役会の過半数には、AIG のベンモシェ氏を含む、有数の独立した米国およびヨーロッパの航空および金融業界の専門家が含まれる見込みであり、残りの取締役会の構成員は、投資家グループの代表者で構成される見込みです。取締役会は、引き続き「ベスト・プラクティス」のガバナンス基準および実務を維持する予定です。

クープロン氏は、以下のように述べました。  
「これは、ILFC を将来的に力強く成長させる、刺激的な新たな一章です。現存の経営陣が地位を維持することにより、本取引が継ぎ目のないものとなり、ILFC は、当社の世界中の顧客のニーズに応えるような、最新の航空機による最善の組み合わせを提供することに重点的に取り組むことができます。大規模な航空機提供パイプラインに加え、ILFC は、航空会社、製造会社およびリース会社における幅広い経験をもつ熱心な経営チーム有しています。当社は、当社の事業にとって新たな機会を模索するために、投資家グループと協力することを心待ちにしています。昨年、ILFC は、地域の航空における成長および需要が確立され、それらが大幅に増加することが予想されるため、北京およびシンガポールに、地域の顧客サポートに特化した新たなオフィスを開設しました。」

クレディ・スイスは、本取引に関連して投資家グループの金融アドバイザーを務めており、シン普森・サッチャー・アンド・バートレットは、投資家グループの法律アドバイザーを務めています。

# # #

本プレスリリースには、1995 年私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）の意義の範囲内で「将来の見通しに関する記述（“forward-looking statements”）」が含まれています。特に、ILFC の売却が完了すること、または完了した場合におけるその条件については、いかなる保証も与えられません。これらの将来の見通しに関する記述は過去の事実ではなく、将来の事象に関する AIG の見解のみを表しています。その多くは性質上、本質的に不確実なものであり AIG に制御可能な範疇を超えています。連邦証券法により要求される重要な情報を開示する AIG の継続的な義務を除き、AIG は、たとえ新たな情報、将来の事象またはその他の事由が生じて、書面または口頭を問わず、その見解、目標、予測およびその他の記述を更新または変更する義務を負わず、また、そのような義務を明確に否認します。実際の結果がかかる将来の見通しと（場合によっては大きく）異なる要因は、米国証券取引委員会に対する AIG の提出書類に記述される要因を含んでいます。

# # #